

大柳電気通信

高所作業車実習を行う（若柳 くり電資料館前の現場にて）

会社には高校生がやってきた

登米総合産業高校インターンシップ

十月二十二日（火）から三日間、当社に高校生が三名やってきました。宮城県登米総合産業高校（以下「登米総産」）電気科の二年生のインターンシップのためです。

登米総産からは、今春、電気科の二名が入社しましたので、その新入社員がインターンシップのお世話役となりました。二年先輩にあたる高校生に対し、丁寧な指導をしました。初日の現場見学では、高校生を高所作業車に搭乗させる体験をしました。現場での経験は、大いに刺激になったようです。

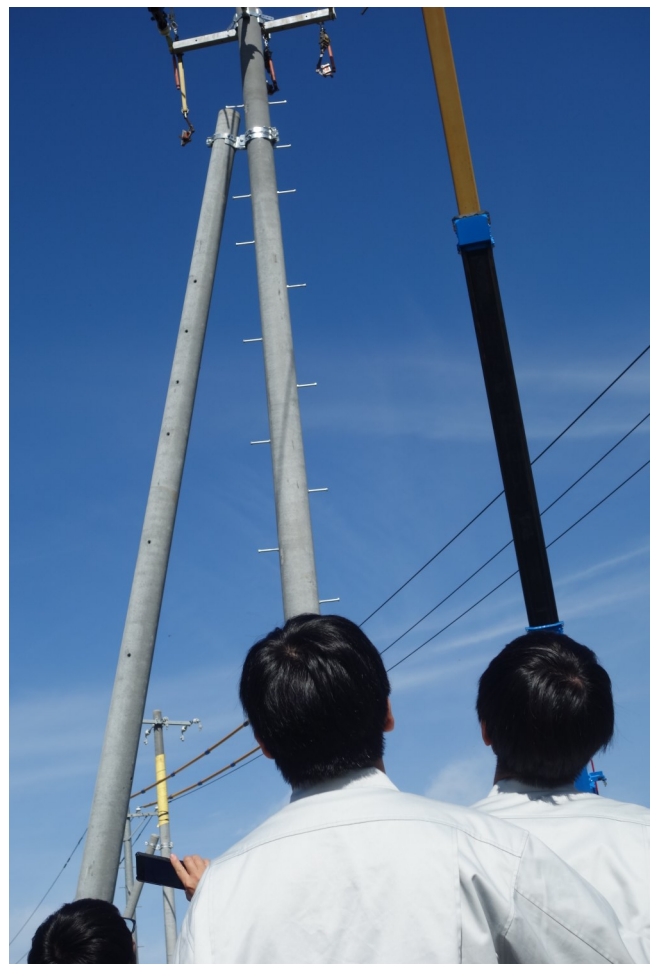
ユアテック栗原営業所の作間課長さんからは、「配電設備の基礎」を教えてくださいました。また、東北電力ネットワーク栗原登米電力センターの早川課長さんには、「電気とは何か」を教えてくださいました。現場を預かる専門家の話に、高校生は引き込まれていました。

高校二年生は、大人になる階段を上る難しい時期です。鈴木社長は、「自分を知ること」「どんな生き方を目指すか」というテーマを設けて、高校生と懇談をしました。

三日間のインターンシップを終えて、三人の高校生は、声高らかに御礼の言葉を述べ、帰っていきましました。今後は、インターンシップで刺激を受けたことを生かして、普段の学校での学びをより深めてほしいと思います。

今回は、インターンシップを特集してお届けします。

3日間とも、現場を見学しました。





プロの方の講義を受けました。



インターンシップ感想

◇現場でどんなことを学びましたか

○配電工事の現場を実際に見てみて、社員さんたちがコミュニケーションをたくさんとっていた。高所作業車に乗せてもらったが、怖くて下を見ることができなかった。

○現場を見て、今まであまり見たことがない仕事の様子を見せてもらい、とても勉強になりました。

◇講義について

○配電や電気について、とても分かりやすく教えてもらいました。

○配電工事に使用される機器などを触らせてもらいました。東北電力の仕事内容も興味深かったです。

◇先輩との対話

○仕事の苦労ややりがいについて教えてもらいました。

○現場で仕事をしているのやりがいを教えてもらいました。

◇社長との対話

○今後の人生について学び、目標をもって取り組むことが大切だということを教えてもらいました。

○自分の性格や目標について考え直すことができました。

◇まとめ

○電気のことだけでなく、大人の人たちと会話をしてみても、人とかかわり方や人生のことを知ることができて、とても有意義なインターンシップでした。

インターンシップ 日程

10月22日(火)

8時30分 朝礼

午前 現場見学

午後 講話「配電設備について」

ユアテック栗原営業所 作間課長さん

15時30分 終礼

10月23日(水)

午前 現場見学

午後 話し合い「仕事とは」 社長

10月24日(木)

午前 現場見学

先輩の写真と語る 新入社員2名

午後 講話「電気とは」

東北電力NW 栗原登米電力センター

早川課長さん

15時 振り返り

自分を愛し

家族を愛し

会社を愛し

地域を愛し

世界を愛す

大柳電気の社是です。



社長 鈴木 悟

有)大柳電気